

愉しく
仲良く
元気よく



FU

TA

BA

ふたば

令和5(2023)年2月24日

校長 田村 穰

Principal MINORU TAMURA

志を持ちグローバル社会で生きぬくシカゴっ子をめざして <https://chicagojs-next.edu>



人間万事塞翁が馬



私の気に入っていることば…といえばこのことわざになります。似たことばに「禍福は糾^{あざな}える縄の如し」がありますが、「人間万事塞翁が馬」の方がなぜかしくりときます。年齢^{よわい}を重ねるごとに、このことばどおり人生は回っているのではないかと錯覚してしまうことがあるほどです。

私の中学校時代の話です。今日学校で良いことがあった…二つも。普段苦手としている先生に褒められた。しかも、放課後気になっている異性と初めて話ができた。うきうきして仲の良い友だちと帰宅中、ささいなことから口論になり、激昂^{げきこう}し大げんか。せっかく今日はいいことがあったのにと自戒。前回の二学期期末テストで自己最高点を記録。「もしかして僕は天才」と天狗になっていたところ、今回の学年末テストは史上最低。この世には神も仏もいないのかなどと、どん底に叩きつけられ嘆き悲しむ。

良いことがあったあとは必ずと言っていいほど悪いことがあり、逆に悪いことがあったあとには、良いことが起こったりします。良いことが続いていると思った矢先、悪いことが立て続けに起こる。不思議なものです。

良いことが重なると、人間どうしても慢心や奢^{おご}りが出てしまいます。それが不用意な言動につながる…というのが私の苦い経験です。経験を重ねれば、人間賢くなり、なくなるだろうという期待もおなしく同じ失敗を繰り返してしまいます。若いころのように慢心や奢りが表面に出ていなくても、心の奥底で、少し楽をしようとし、努力の継続を怠^{おこ}ってしまっていることがままあるようです。

一方で、上手くいかないことや辛いことが重なると、難局を乗り越えようと俄然考え始めます。何が原因で、どうすれば打開できるのか。色々と試みます。学習し経験します。失敗もしますが進みます。そうこうしているうちに運気は上昇しているようです。人生はこんな繰り返しのようになります。

さて、「人間万事塞翁が馬」にも忘れてはいけない大前提があります。それは、「感謝」の気持ちを持ち続けることだと思えます。私たち一人ひとりも、家族の方や地域の方々、恩師などたくさんの方に支えられ助けられてここまでやってこられました。良いことがあっても悪いことがあっても、温かく見守り、育ててきていただいています。いくつになっても、「感謝」の気持ちを忘れず、「人間万事塞翁が馬」に身を委ねながら、自分らしい人生を歩みたいものです。

子ども達の作品







MAOTO



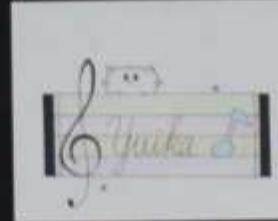
SAKI



学校



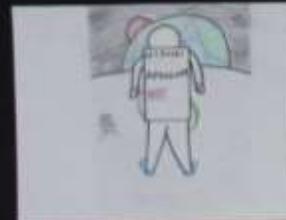
SUZUKI NEVER DIES



Yuka



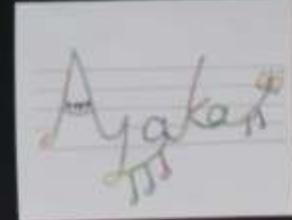
学校



学校



学校



Ayaka

中学部1年
2学期美術作品
「名前ロゴ」



魚



花



バラ



魚



富士山



豆

来月の予定

							3月						
日		月		火		水		木		金		土	
						1		2		3 ひな祭り		4 補習校卒業式・卒園式	
5		6		7		8		9 幼稚部卒園式（半日）		10 幼稚部修了式 卒業式前日準備		11 補習校修了式	
12		13 卒業式 下校11:40		14 修了式 離任式 下校11:20		15 春休み		16		17		18	
19		20		21		22		23		24		25	
26		27		28		29		30		31			

*来年度 着任式・始業式：4月10日（月）下校12：10

入学式：4月11日（火）下校12：10

年間行事予定表は、暫定版を今月中に保護者クラスルームで配信いたします。

4月に入りましたら、もう一度確定したものを配信する予定です。

*保護者クラスルームについて

アイコン名変更のお願いに対して、ご協力いただきまして、ありがとうございます。

4月からは、確実に情報配信できる見通しが立ちました。

*だいぶ日差しが強くなり、春の気配を感じる頃となりました。今年度も残り少なくなりましたが、卒業や進学に向けて、1年間をていねいにまとめていきます。